

大学院美術研究科文化財保存専攻（保存修復・日本画） 講師又は准教授の公募について

1. 募集人員 東京藝術大学芸術研究院文化財保存修復領域 講師又は准教授 1名
2. 所属・専門等 大学院美術研究科文化財保存学専攻 保存修復(日本画)
3. 担当授業 大学院において、文化財の保存及び修復に関する講義、実習及び演習を担当する。
4. 採用予定時期 平成30年4月1日
5. 任期 採用にあたっては、定年(満67歳)を上限として、講師は5年、准教授は10年の任期制(更新可)が適用される。
※更新については任期末1年半前までに更新希望の有無を確認の上、再任評価を行い、任期末の1年前までに更新の可否を決定します。
6. 給与 東京藝術大学職員給与規則に基づき支給
7. 応募資格 下記の各項を満たす者
 - (1)保存修復(日本画)に関する優れた業績を有する者
 - (2)保存修復(日本画)に関する教育研究の指導能力を有する者
 - (3)保存修復に関する国内外の共同プロジェクトなどに参加できる者
 - (4)修士以上の学位を有する者もしくはこれと同等以上の実績を有する者
 - (5)採用後、通勤可能な範囲に居住できること(上野校地)
 - (6)国籍は問わない。ただし、上記の教育に支障のない日本語能力を有する者
8. 選考方法
 - (1)第一次選考：書類審査 平成29年9月中旬 結果は書面にて通知する。
 - (2)第二次選考：面接審査 平成29年9月29日(金) 詳細は第一次選考合格者に通知する。
(なお、面接に要する旅費等は自己負担とする。)
 - (3)候補者内定：平成29年11月中旬頃
9. 提出書類
 - (1)履歴書(写真貼付。生年月日、連絡がつく電話番号・メールアドレス等を明記のこと)
 - (2)業績リスト(別添の参考資料を参照して作成のこと)
 - (3)主たる著書、論文、報告書や創作作品等の業績資料(資料等は写しでも可)
 - (4)応募の動機および教育研究に対する抱負(2000字程度、書式自由、ただし日本語に限る)※なお、(3)業績資料は返却するので、応募者は必要な額の切手を貼付し、送付先を明記した返信用封筒を同封すること。
(宅配便利用の場合は、送付票(着払い)に記入の上、返信用封筒と共に同封すること。)
※提出書類は採用事務にのみ使用し、その他の目的に使用することはありません。
10. 書類提出先
〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8
東京藝術大学美術学部庶務係 宛
提出書類は「書留」とし、封筒の表面に「文化財保存学専攻教員応募書類在中」と朱書きすること
11. 書類提出期限
平成29年9月6日(水)17時までに必着(厳守)のこと。書留郵便以外は受理しない。
12. その他
本学では平成28年6月に公表した「大学改革・機能強化推進戦略2016」に基づき、ダイバーシティな大学環境実現のため、女性や外国人等の教員・研究者への支援を推進しています。
(東京藝術大学ダイバーシティ推進室HP <http://diversity.geidai.ac.jp/>)

【本件に関する問合せ先】

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学美術学部庶務係(担当：本橋)
(問合せは、必ず文書によること。) FAX：03-5685-7765

参考資料 - 業績リスト作成要領

1. 著書、論文、報告書等

- ・ 共著者のある場合は全員を記載順に記載。
- ・ 分担執筆の場合は、執筆担当頁(pp.)を記載。
- ・ 論文については査読の有無を記載。

2. 展覧会等

2.1 個展

2.2 グループ展（美術館企画展、グループ展、コンクール等）

2.3 その他

3. 講演、発表

- ・ 共同発表の場合は全員を記載し、主たる発表者に下線。

4. 修理等の実績

- ・ 共同修理の場合は全員を記載し、代表者ならびに役割を明記。

5. 受賞歴

6. パブリックコレクション

7. 教育業績

- ・ 当該領域の担当授業等、教育実績を記載。
- ・ 博士号の審査実績を有する場合には、学位取得者ならびに大学名、学位論文名、主査・副査の別、審査年を記載。